資料１

２０１０年度　スマート通勤キャンペーンについて

（１）期間

2010 年 9 月 1 日～2010 年 11 月 30 日（3 ヶ月間）

（２）参加状況

①事業所　36 事業所（数は公表不可を含む、以下の表は公表可の事業所のみ）

宇部興産株式会社　宇部ケミカル工場	株式会社西京銀行　宇部支店
宇部興産株式会社　宇部本社	株式会社広島銀行　宇部支店
宇部興産株式会社エネルギー･環境事業部　電力ビジネスユニット	協和発酵キリン株式会社　宇部工場
宇部市ガス水道局　水道事業部	協和発酵バイオ株式会社　山口事業所宇部
宇部市ガス水道局　ガス事業部	新光産業株式会社
宇部市交通局	田村歯科
宇部市土地開発公社	チタン工業株式会社
宇部市役所	東洋証券株式会社　宇部支店
宇部商工会議所	山口宇部農業協同組合
宇部テクノエンジ株式会社	宇部市常磐町 2 丁目 3-28
ウベボード株式会社	山口県宇部県税事務所
学校法人香川学園宇部環境技術センター	山口大学医学部　公衆衛生
株式会社宇部興産総合サービス	山口大学工学部
株式会社宇部スチール	中国電力株式会社　宇部営業所
株式会社宇部日報社	中国労働金庫　宇部支店
株式会社エフエムきらら	郵便事業株式会社　宇部支店

②サポーター　76 人

サポーターとは､｢スマート通勤カルテ｣を用いて自己管理するとともに､職場や家庭での会話､地域 SNS「うべっちゃ」での対話等を通じて、まわりの方のスマート通勤へのチャレンジをサポートする個人参加者である。ちらし等によりキャンペーン期間を通じて募集を行った。

参加事業所	セントラル硝子㈱宇部工場	1 人
	中国電力株式会社宇部営業所	1 人
	協和発酵キリン株式会社宇部工場	2 人
	株式会社宇部スチール	4 人
	山口県宇部県税事務所	1 人
	チタン工業株式会社	1 人
	宇部テクノエンジ株式会社	1 人
	宇部興産株式会社エネルギー・環境事業部　電力ビジネスユニット管理グループ	9 人
	山口県宇部健康福祉センター	3 人
	協和発酵バイオ株式会社山口事業所　宇部	6 人
	山口大学工学部	8 人
	山口宇部農業共同組合	1 人
	山口大学医学部公衆衛生	1 人
	宇部商工会議所	1 人
	田村歯科	1 人
	新光産業株式会社	24 人
その他	宇部アンモニア工業有限会社	1 人
	宇部吉野石膏株式会社	1 人
	協和エンジニアリング株式会社宇部出張所	2 人
	千代田開発株式会社宇部営業所	4 人
	株式会社宇部情報システム	1 人

	宇部市消防本部	1 人
	特定非営利活動法人　chao　banbina	1 人

③一般参加者（通勤カレンダー返信者）　21 人

一般参加者とは、「スマート通勤カレンダー」を用いて自己管理しながら自身のペースでスマート通勤にチャレンジする個人参加者である。参加企業を通じて募集を行った。

宇部市交通局	2 人
宇部テクノエンジ株式会社	9 人
宇部市ガス水道局ガス事業部	9 人
明石被服興業株式会社宇部工場	1 人

（３）周知活動

①ポスター

キャンペーンへの参加を促すポスターを 500 部作製し、以下の場所に掲示した。

・キャンペーン参加事業所
・市役所
・フジグラン宇部
・JR 宇部新川駅、JR 宇部駅
・ゆめタウン宇部　等

②FM きらら

	（ア）初期バージョン CM	（イ）中盤バージョン CM
期間	9/1(水)～9/15(水)の平日(計 10 日間)	10/15(金)～10/31(日)の毎日(計 17 日間)
時間帯回数	7 時台、8 時台、17 時台に各 1 回ずつ、水曜日のみ 18 時台にも 1 回放送(計 36 回) ※マイカー通勤している人を対象とするため、通勤時間に合わせた時間帯とした。	月～土 7 時台、8 時台、17 時台、18 時台に各 1 回と日曜日の 8 時台に 1 回(計 59 回)
内容	女性社員1「私、最近歩いて通勤してるのよ。少しはスッキリしたかしら。」 女性社員2「私は自転車通勤。社長は？お忙しいから無理ですよねぇ？」 社長「私か？私は電車でスマート通勤してるが、君は？」 男性社員「ぼ、僕は自家用車ですけど、僕もバスに変えます！」 ナレーション「地球温暖化対策のためにできること、スマート通勤。あなたも始めませんか？スマート通勤宇部市民会議からのお知らせでした。」	♪～ピンポーン 「スマート通勤推進月間です。 Co2の排出を減らす為に、自転車、バス、電車、徒歩で通勤など地球にやさしい通勤スタイルをこころがけましょう。 自分でできることからスタート。 スマート通勤宇部市民会議からのお知らせでした。」

（ウ）事務局スタッフの電話生出演（計 2 回）･･･9/24（金）11 時台及び 10/20（水）17 時台

③新聞広告

8 月 30 日の宇部日報テレビ番組面に、キャンペーンの広告を掲載した。

④ホームページ

サポーター用ページを作成し、情報提供を行った。また、事業所、サポーターの募集はキャンペーン期間中継続した。

うべっちゃにおいてホームページに掲載する写真やイラストの提供を呼びかけたところ、オリジナルCG 作品やちょるらバスの写真などが寄せられ、トップページ上部へ掲載した。

⑤宇部地域 SNS「うべっちゃ」

「チャレンジ！スマート通勤」コミュニティにて、情報提供と意見交換を行っている。コミュニティの参加者は 36 名であり、昨年より 12 名増加した。

ポスターに映っている女性モデルの話から、自転車通勤のファッションやスタイルアップできる漕ぎ方など、自転車に関する話題で盛り上がった。

うべっちゃ内での呼びかけにより、「ケロゴン」さんからオリジナルイラスト提供された。

⑥エコフェア

10 月 31 日にときわ公園で開催された「エコフェア 2010 in　UBE」において、展示ブースの一部を借りて、スマート通勤のポスターとニューズレター、そしてスマート通勤をテーマにした写真・イラストを展示した。

▲写真左＝展示のようす。

▲写真右＝同ブース内には自転車発電があり大人気。

⑦広報に関するミニアンケートの結果

9 月のサポーターへのメールの中で、ポスター・宇部日報・FM きららの３媒体による広報についてのアンケートを行い、9 名から回答を得た。ポスターは参加事業所にも配布していることから約 67%が見たことがあると回答した。宇部日報・FM きららの CM の認知度は 22%であった。

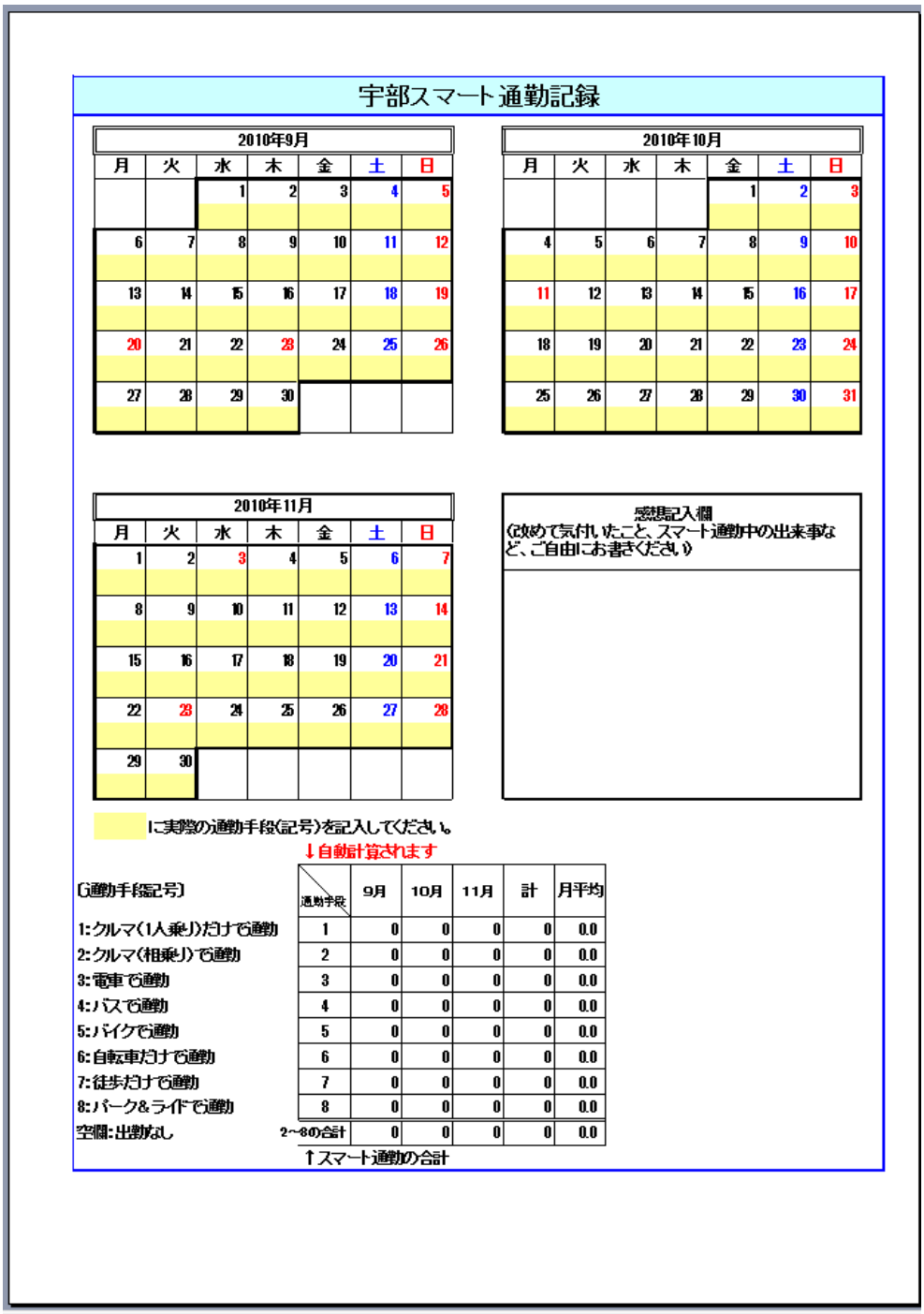
- ・ポスターを見たことがある・・・67%
- ・宇部日報に掲載した広告を見たことがある・・・22%
- ・FM きららの CM（初期）を聞いたことがある・・・22%

（４）通勤カルテ、通勤カレンダー

通勤状況を記録するために、サポーター用に「スマート通勤カルテ」及び一般参加者用に「スマート通勤カレンダー」を作成した。作成にあたっては、エクセルを使用することで、数値の入力のみで自動的に集計等が行えるよう工夫し、「スマート通勤カルテ」は、①通勤カレンダー（必須）、②チェックシート（任意）、③目標設定（任意）の３部構成、「通勤カレンダー」は①通勤カレンダー（必須）、②チェックシート（任意）の２部構成とし、ホームページよりダウンロードできるようにした。

①通勤カレンダー

通勤手段に対応した番号をカレンダー部に入力することで、月々の交通手段別通勤日数を自動計算する。また、自由に記入できる感想記入欄も設けた。



宇部スマート通勤記録

2010年9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2010年10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2010年11月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

感想記入欄
（改めて気付いたこと、スマート通勤中の出来事など、ご自由にお書きください）

に実際の通勤手段（記号）を記入してください。

↓自動計算されます

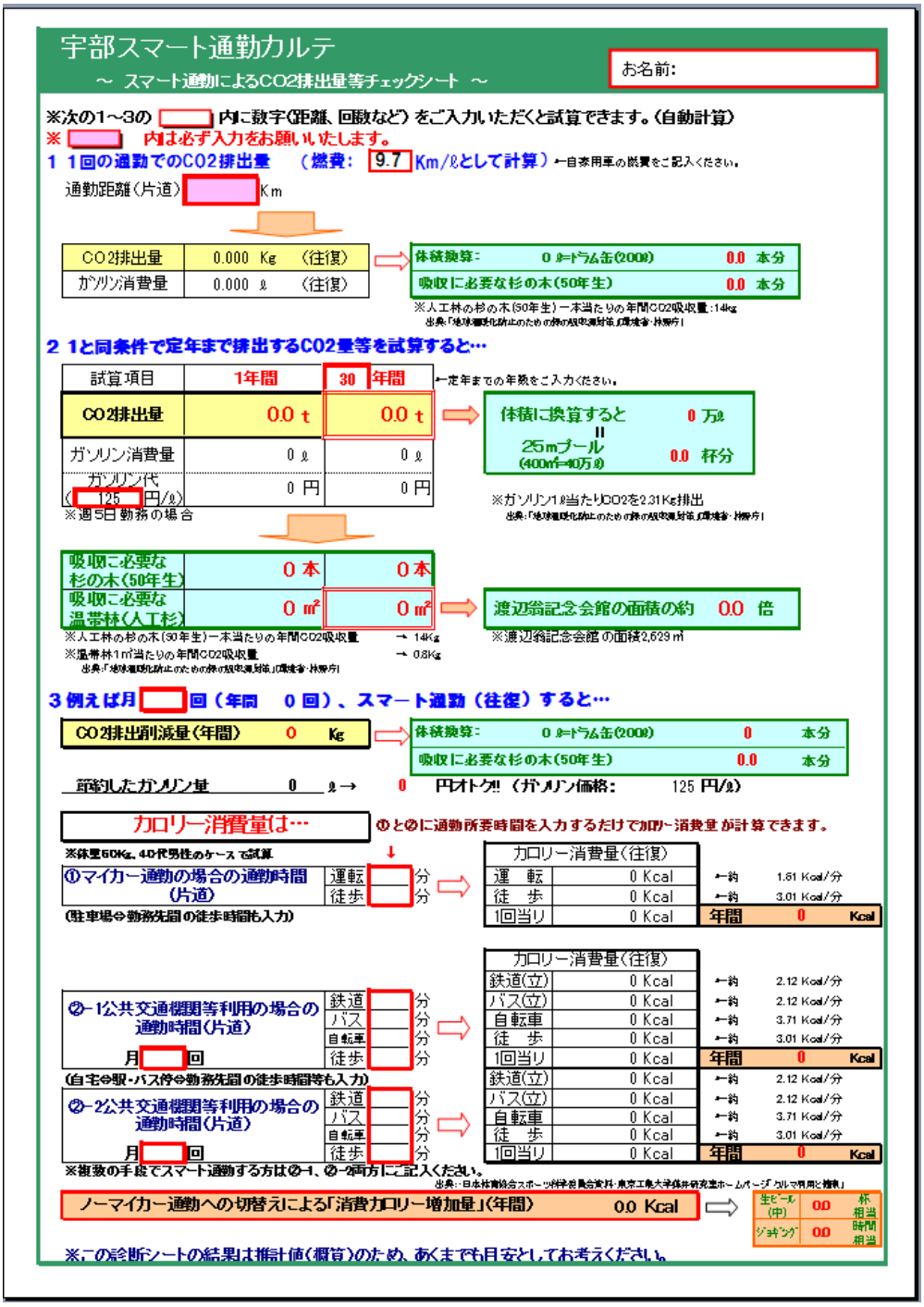
〔通勤手段記号〕
1：クルマ（1人乗り）だけで通勤
2：クルマ（相乗り）で通勤
3：電車で通勤
4：バスで通勤
5：バイクで通勤
6：自転車だけで通勤
7：徒歩だけで通勤
8：パーク＆ライドで通勤
空欄：出勤なし

通勤手段	9月	10月	11月	計	月平均
1	0	0	0	0	0.0
2	0	0	0	0	0.0
3	0	0	0	0	0.0
4	0	0	0	0	0.0
5	0	0	0	0	0.0
6	0	0	0	0	0.0
7	0	0	0	0	0.0
8	0	0	0	0	0.0
2～8の合計	0	0	0	0	0.0

↑スマート通勤の合計

②チェックシート

通勤距離や通勤日数等を入力することにより、CO2 排出量やカロリー消費量を試算できる。



宇部スマート通勤カルテ

～ スマート通勤によるCO2排出量等チェックシート ～

お名前:

※次の1～3の [ ] 内に数字(距離、回数など)をご入力いただくと試算できます。(自動計算)

※ [ ] 内は必ず入力をお願いいたします。

1 1回の通勤でのCO2排出量 (燃費: 9.7 Km/ℓとして計算) ←自家用車の燃費をご記入ください。

通勤距離(片道) [ ] Km

CO2排出量	0.000 Kg	(往復)
ガソリン消費量	0.000 ℓ	(往復)

体積換算: 0 ℓ=ドラム缶(200ℓ) 0.0 本分

吸収に必要な杉の木(50年生) 0.0 本分

※人工林の杉の木(50年生)一本当たりの年間CO2吸収量:14kg

出典:「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」(環境省・林野庁)

2 1と同条件で定年まで排出するCO2量等を試算すると…

試算項目	1年間	30 年間
CO2排出量	0.0 t	0.0 t
ガソリン消費量	0 ℓ	0 ℓ
ガソリン代 (125 円/ℓ)	0 円	0 円

←定年までの年数をご入力ください。

※週5日勤務の場合

体積に換算すると 0 万ℓ

=

25mプール (400m³=40万ℓ) 0.0 杯分

※ガソリン1ℓ当たりCO2を2.31Kg排出

出典:「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」(環境省・林野庁)

吸収に必要な杉の木(50年生)	0 本	0 本
吸収に必要な温帯林(人工杉)	0 m²	0 m²

渡辺翁記念会館の面積の約 0.0 倍

※人工林の杉の木(50年生)一本当たりの年間CO2吸収量 → 14Kg

※温帯林1m²当たりの年間CO2吸収量 → 0.8Kg

出典:「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」(環境省・林野庁)

※渡辺翁記念会館の面積2,629 m²

3 例えば月 [ ] 回(年間 0 回)、スマート通勤(往復)すると…

CO2排出削減量(年間) 0 Kg

体積換算: 0 ℓ=ドラム缶(200ℓ) 0 本分

吸収に必要な杉の木(50年生) 0.0 本分

節約したガソリン量 0 ℓ → 0 円オトク!! (ガソリン価格: 125 円/ℓ)

カロリー消費量は…

①と②に通勤所要時間を入力するだけでカロリー消費量が計算できます。

※体重60Kg、40代男性のケースで試算

①マイカー通勤の場合の通勤時間(片道)

運転	[ ]	分
徒歩	[ ]	分

(駐車場⇔勤務先間の徒歩時間も入力)

カロリー消費量(往復)			
運転	0 Kcal	←約	1.51 Kcal/分
徒歩	0 Kcal	←約	3.01 Kcal/分
1回当り	0 Kcal	年間	0 Kcal

②-1公共交通機関等利用の場合の通勤時間(片道)

月 [ ] 回

鉄道	[ ]	分
バス	[ ]	分
自転車	[ ]	分
徒歩	[ ]	分

(自宅⇔駅・バス停⇔勤務先間の徒歩時間等も入力)

カロリー消費量(往復)			
鉄道(立)	0 Kcal	←約	2.12 Kcal/分
バス(立)	0 Kcal	←約	2.12 Kcal/分
自転車	0 Kcal	←約	3.71 Kcal/分
徒歩	0 Kcal	←約	3.01 Kcal/分
1回当り	0 Kcal	年間	0 Kcal

②-2公共交通機関等利用の場合の通勤時間(片道)

月 [ ] 回

鉄道	[ ]	分
バス	[ ]	分
自転車	[ ]	分
徒歩	[ ]	分

カロリー消費量(往復)			
鉄道(立)	0 Kcal	←約	2.12 Kcal/分
バス(立)	0 Kcal	←約	2.12 Kcal/分
自転車	0 Kcal	←約	3.71 Kcal/分
徒歩	0 Kcal	←約	3.01 Kcal/分
1回当り	0 Kcal	年間	0 Kcal

※複数の手段でスマート通勤する方は②-1、②-2両方にご記入ください。

出典:「日本体育協会スポーツ科学委員会資料」「東京工業大学保井研究室ホームページ「カロリー利用と運動」」

ノーマイカー通勤への切替えによる「消費カロリー増加量」(年間) 0.0 Kcal

生ビール(中)	0.0	杯相当
ジョギング	0.0	時間相当

※この診断シートの結果は推計値(概算)のため、あくまでも目安としてお考えください。

③目標設定

1 ヶ月間のスマート通勤実施日数を目標として設定すると、スマート通勤カレンダーと連動して目標達成率を表示する。

宇部スマート通勤目標

目 標			
2:クルマ(相乗り)で通勤	月		回
3:電車で通勤	月		回
4:バスで通勤	月		回
5:バイクで通勤	月		回
6:自転車だけで通勤	月		回
7:徒歩だけで通勤	月		回
8:パーク＆ライドで通勤	月		回
計	月	0	回

に1ヶ月の目標回数を記入してください。

↓自動計算されます

達成率	
9月	#####
10月	#####
11月	#####
9月～12月	#####

（５）サポーターとのコミュニケーション

①ニューズレターの配信

ニューズレターを作成し、サポーターにメールで配信した。

【第１号　９月 25 日発行】

チャレンジ！スマート通勤！

キャンペーンが始まりました！

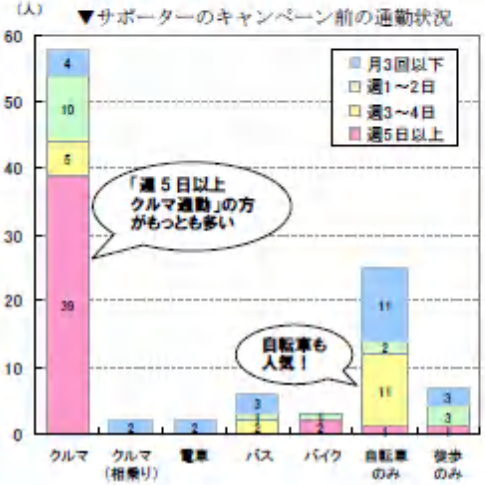
スマート通勤キャンペーン
ニューズレター
第1号 10.9.25

◆キャンペーン前は約６割がほぼ毎日クルマ通勤、自転車も健闘！

９月１日にスマート通勤キャンペーンがスタートし、２週間が経過しました。現在、サポーターの方は６８名に達しています。キャンペーンが始まってスマート通勤へチャレンジされている方も多いと思いますが、キャンペーン前のアンケート※によると、39 人がほぼ毎日（週５日以上）クルマで通勤されていることがわかりました。一方、スマート通勤の対象となる交通手段の中では、自転車が人気のようです。

キャンペーンで、今後どのように変化していくのでしょうか。楽しみですね。

※サポーター申込書付属のアンケートより。65 人から回答を得た。グラフは複数回答あり。



◆見た？聞いた？－キャンペーン広報作戦が展開中

作戦その１「特製ポスター」

何ともおしゃれな感じに仕上がっております（手前味噌ですが…）。この写真は市内某所で撮影されたのですが、どこだかわかりますか？正解は、全日空ホテルの横。ポスターになると、見慣れた風景も魅力アップして見える気がします。キャンペーン参加事業所、フジグラン宇部、ゆめタウン宇部、宇部新川駅、宇部駅等に掲示されています。

作戦その2「FM きらら で CM 放送」

第１弾として 9/1～15 までこんな CM を放送しました。

女性社員1「私、最近歩いて通勤してるのよ。少しはスッキリしたかしら。」
女性社員2「私は自転車通勤。社長は？お忙しいから無理ですよねぇ？」
社　長　「私か？私は電車でスマート通勤してるが、君は？」
男性社員　「ぼ、僕は自家用車ですけど、僕もバスに変えます！」
ナレーション「地球温暖化対策のためにできること、スマート通勤。あなたも始めませんか？
スマート通勤宇部市民会議からのお知らせでした。」

10 月下旬からは第２弾を予定しています。CM の内容や演出方法など、みなさんからのアイディアがあれば教えてくださいね。

ご意見・ご質問は、partner@ube-ttm.com までお願いいたします。

スマート通勤宇部市民会議事務局（担当：宮地、岡田）

【第２号　10 月 20 日発行】

チャレンジ！スマート通勤！

9月の集計結果　発表！

スマート通勤キャンペーン
ニュースレター
第2号 10.10.20

◆人気のスマート通勤スタイル・・・1 位は「自転車」

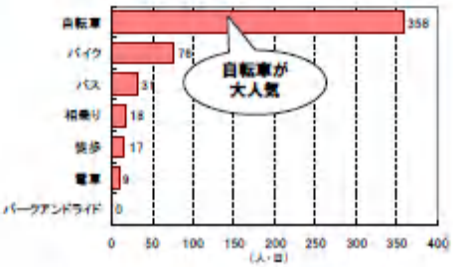
サポーター52人のカルテによると、全出勤日のうちスマート通勤した日が半分以上（52%）に達したという結果になりました。その手段としては自転車がダントツの1位！大人気ですね。

個別の状況を見てみると、クルマと自転車を日によって使い分けている人がもっとも多い結果になりました。他にも複数の手段を使い分けながら、うまくスマート通勤にチャレンジしている人が多いようです。

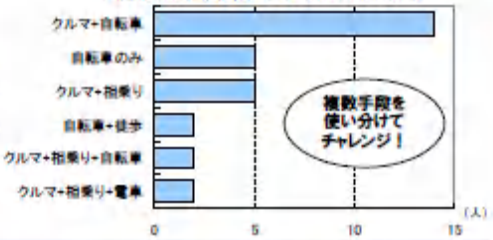
目標を達成できた人も、思うようにできなかった人も、仕事や家庭の都合、天候や体調に合わせて、無理のない範囲でスマート通勤にチャレンジしていきましょう。

※スマート通勤カルテ 9 月分より。52 人から提出があった。

▼交通手段別スマート通勤日数（52 人分の合計値）



▼個別の通勤手段 BEST3（クルマのみを除く）



◆サポーターさんから一言

たくさんのメッセージをありがとうございます。全部ご紹介できなくてごめんなさい。自転車以外で通勤している方の一言もお待ちしています。

●自転車通勤にリュックを使用しています。以前使用していたデイパックは、背中に密着していて、自転車に乗っていると、背中だけ暑くなっていました。なので、僕が使用しているのは、背中に接触する部分がネット状になっているものです。これが、背中の不快感を一掃してくれました。商品は deuter(ドイター)フューチュラ 28。雨の日でもレインカバーがついているので、安心です。特にカゴのない自転車で、荷物をもっていく方には良いアイテムだと思います。（宮崎良丞さん）

●雨の中でもカッパにて自転車通勤を遂行しました。少しでも自分の決めた目標を達成しようと思い、自転車通勤にこだわり努めました。（ナカモトさん）

●9月は出張が多く、最寄り駅まで自転車で行き、サイクル＆JRライドを心がけました。また、出張先の富山や岡山で駅チャリなど自転車を借りて町歩きを楽しんだり、自転車レーンなど走行環境を実際に試してみる機会がありました。（どさんこHMさん）

●自転車運転って、ワリと歩道も路肩も邪魔なんですよね・・・しかも、でこぼこや縁石カーブ、道路交差の歩道と車道の段差、いっぱい不便がありますね。でも今時分の季節は気持ちがいいです。近所の顔見知りの挨拶や登校中の子ども達、小さなコミュニケーションがたくさんあって面白いです。

ご意見・ご質問は、partner@ube-ttm.com までお願いいたします。
スマート通勤宇部市民会議事務局（担当：宮地、岡田）

【第３号　11 月 20 日発行】

チャレンジ！スマート通勤！

10月の集計結果 発表！

スマート通勤キャンペーン
ニュースレター
第3号 10.11.20

◆スマート通勤が徐々に浸透！自転車・徒歩・電車での通勤が増加

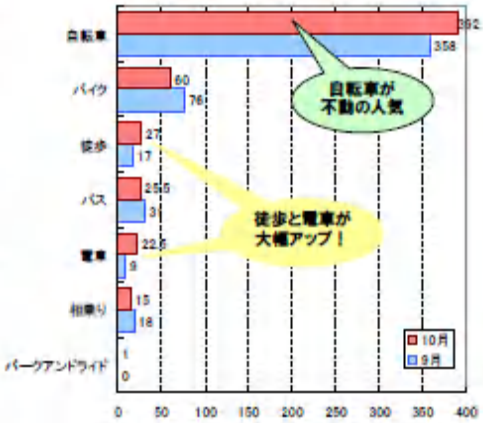
サポーター48 人のカルテによると、全出勤日のうちスマート通勤した日が 57%という結果になりました。９月（52%）からなんと５ポイントもアップ！

個別の状況を見てみると、自転車、徒歩、電車が９月より増えています。残暑厳しい９月を過ぎ、自転車や徒歩で通勤しやすくなったのかもしれませんね。

キャンペーン期間も残り少なくなりました。寒さが厳しくなってくる 11 月は、どのような結果になるのでしょうか。

※スマート通勤カルテ 10 月分より。
48 人から提出があった。

▼交通手段別スマート通勤日数（48 人分の合計値）



◆サポーターさんから一言

●朝晩冷え込んできたので 汗かいた後の始末に気をつけなくちゃデス。おまけに夕方も日が暮れるのが早くなりました。やはり暗い中での自転車運転は控えたいので 効率的に業務をはかしてさっさと帰宅!(^^)!子どもとの時間も充実できて自分もなんとなく体も動かせてナイスな日常を作りたいですね。

●銀杏の木が色づき始めて朝夕冷え込んできました。風邪を引かないようジャンパーを着たり脱いだりしています。歩くスピードも早くなりました（6.2km/h ?）。

●街灯のない暗い道がけっこうあります。自転車のライトで走るのは怖い感じです。

●気温が下がって自転車通勤も心地よい季節となりました。雨も少なく自転車には格別です。そこで一案、通勤手段も一歩進んで徒歩通勤も取り入れたいと思いますが…。（ナカモト）

汗をかいたらきちんと拭き、夕方以降は反射材を身につけましょう。寒いからとポケットに手を入れて歩いていると咄嗟のときに顔面から盛大に着地ーなんてことにも・・・(>_<)

◆エコフェアに行ってきました

10 月３１日に「エコフェア 2010 in UBE」が開催されました。当日はなんと 6,500 人もの来場者があったそうです。

場内のブースの一部をお借りして、スマート通勤のポスターとニューズレター、そしてケロゴンさんのイラスト＆どさんこ HM さんの写真を掲示させていただきました。このブースは、スタンプラリーのポイントになっていたこともあり、子どもたちで賑わいました。この子たちが大人になるころ、どんな通勤スタイルになっているのでしょうか。楽しみですね。

ご意見・ご質問は、partner@ube-ttm.com までお願いいたします。

スマート通勤宇部市民会議事務局（担当：宮地、岡田）

②メールによる個別のコミュニケーション

個々のスマート通勤の状況や目標達成率等に応じた内容のコメントを、事務局からサポーター個人に宛ててメールを送信することでコミュニケーションを図った。

メールによるサポーターとのやりとりの例

サポーターＡさん－9 月のカルテコメント欄より

自転車運転って、ワリと歩道も路肩も邪魔なんですよね‥‥。しかも でこぼこや縁石カーブ,道路交差の歩道と車道の段差 いっぱい不便がありますね。でも今時分の季節は気持ちがいいです。近所の顔見知りの挨拶や登校中の子ども達、小さなコミュニケーションがたくさんあって面白いです

事務局からのメール

自転車通勤にチャレンジされているんですね。
普段はクルマ通勤をしていらっしゃるそうなので、自転車に乗ることでその危険性にも気づかれたのだと思います。お互いが気をつけあって、安心・安全な通勤にしたいものです。

サポーターＡさん－10 月のカルテコメント欄より

先月はワリと雨もあり子どもの通院などもあって 思ったより自転車が活用できませんでしたね。朝晩冷え込んできたので 汗かいた後の始末を気をつけなくちゃデス。おまけに夕方も日が暮れるのが早くなりました。やはり暗い中での自転車運転は控えたいので、効率的に業務をはかしてさっさと帰宅!(^^)!子どもとの時間も充実できて、自分もなんとなく体も動かせて ナイスな日常を作りたいですね。

事務局からのメール

目標達成率 100%超え、おめでとうございます。
お子様の通院など大変でしたね。「ナイスな日常」は理想的ですね～。私もぜひ実現したいものです。
汗をきっちり拭いて、親子で風邪などひかれませんよう、ラスト 1 ヶ月、がんばっていきましょう。

サポーターＡさん－11 月のカルテコメント欄より

やってみればあっと言う間の 3 ヶ月でした。今後もこのまま できる範囲で気楽に少しずつ、何らかの形で CO2 削減に取り組めればいいですね。意識しなくちゃ(*^m^*)
小学校などでも いろいろな活動をしているようです。「活動」でなく「当たり前」として取り組むことができるようしていきたいですね!(^^)!市民全員がやればすごいことなんでしょうね～
で、一つ提案 職場で話題になったのですが、『公共交通機関の日』を設けたら、どのくらいの方が参加されるんでしょうね～ で、この日はタダなんですよ。便利さ 対 時間 対 費用‥‥ どこに軍配が上がるのか難しそうですよね。

事務局からのメール

順調にスマート通勤日を増やされて、ついに目標達成率 120%おめでとうございます！
「公共交通機関の日」のご提案ありがとうございます。無料だったら、私はかなりつられてしまうかも（笑）このような話題が職場であったということ、これも大きな成果ですね。
キャンペーンは終わりましたが、おっしゃるようにみんなが少しずつできる範囲で継続して取り組むというのが大事だと思います。小学生に負けないように私たちも取り組んでいきましょう！
最後になりますが、本キャンペーンにご参加いただき、ありがとうございました。またご一緒できることを楽しみにしています。

（６）サポーターの成果

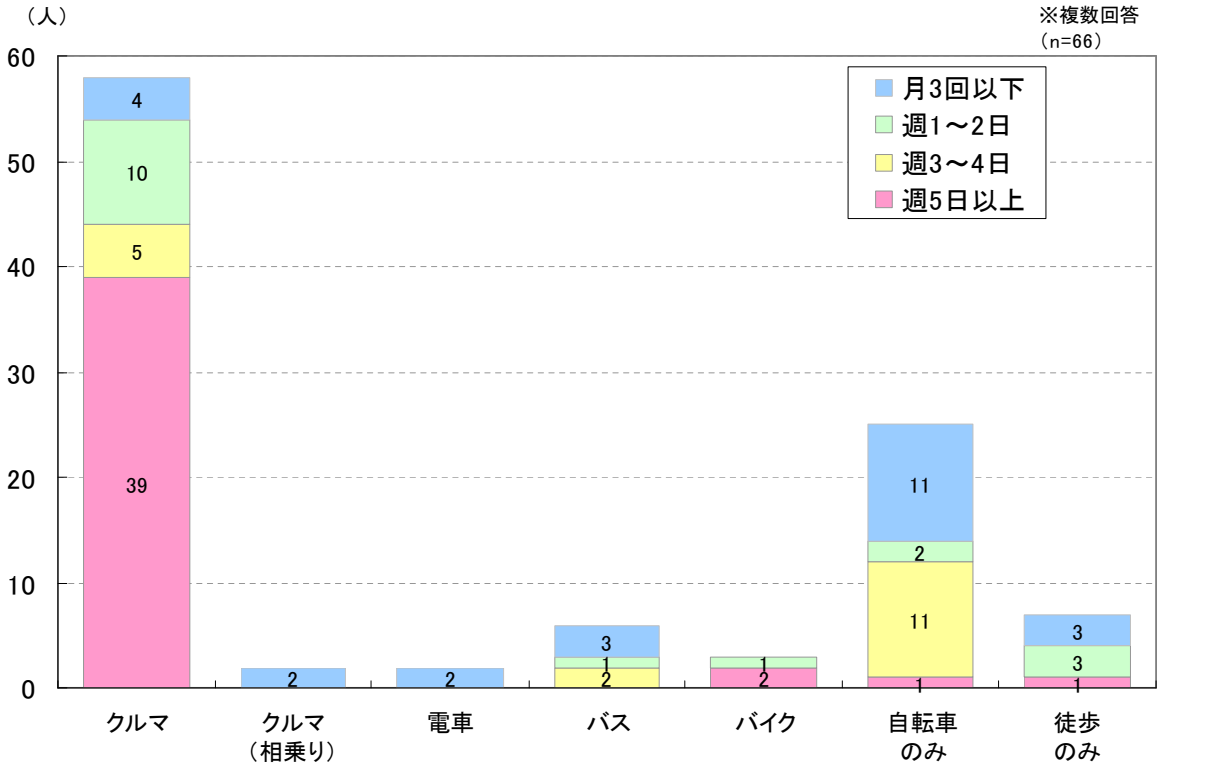
①通勤カルテの提出状況

- 1 ヶ月に 1 度通勤カルテをメールで提出してもらったが、最終月の提出者は 52 名で、回収率は約 68%であった。

期間	提出者数
9 月	52 人
10 月	49 人
11 月	52 人

②キャンペーン前の交通手段

- 週 5 日以上クルマ通勤をしている人が 39 人ともっとも多い。
- スマート通勤手段としては、自転車を利用する人が多い。
- バスや電車などの公共交通の利用は少ない。



サポーター申込み時のアンケート結果より

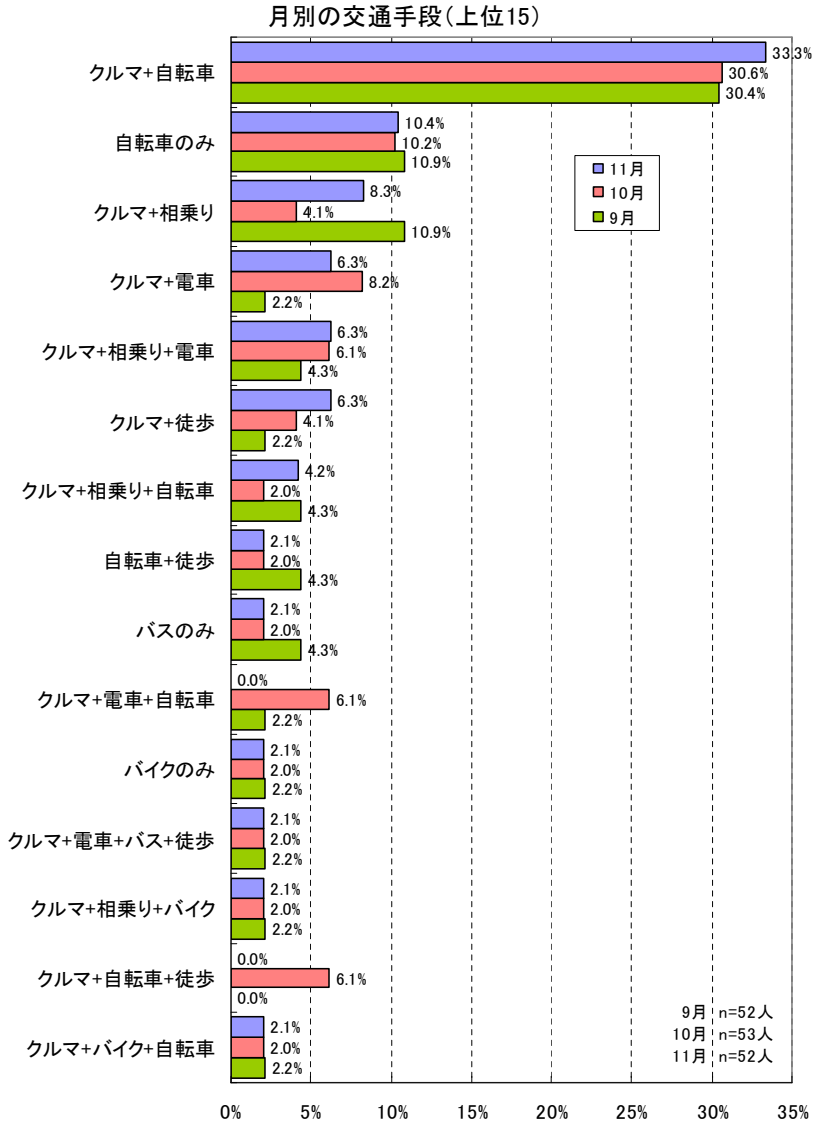
③スマート通勤の実施率

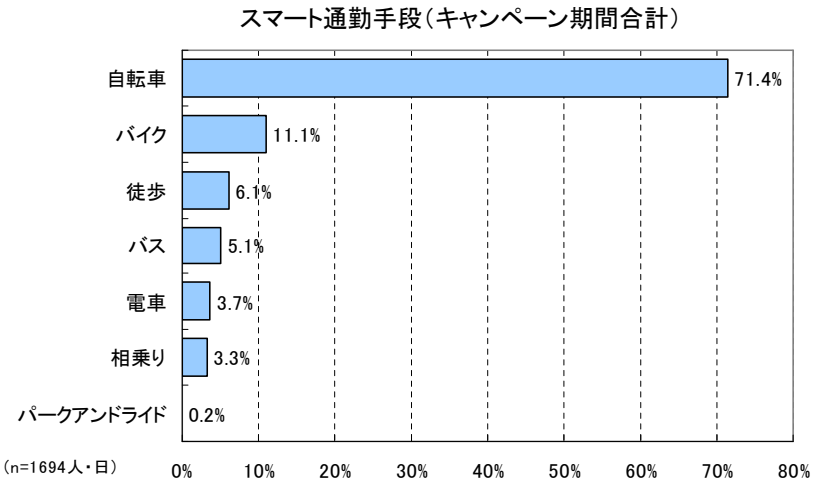
- 期間を通じては 53.2%の日数でスマート通勤を実施できた。

	9 月	10 月	11 月	計（平均）
総通勤日	1,100 人日	1,057 人日	1,020 人日	3,187 人日
スマート通勤実施日数	547 人日	591 人日	556 人日	1,694 人日
スマート通勤実施率	49.3%	55.9%	54.5%	53.2%

④キャンペーン中の通勤手段

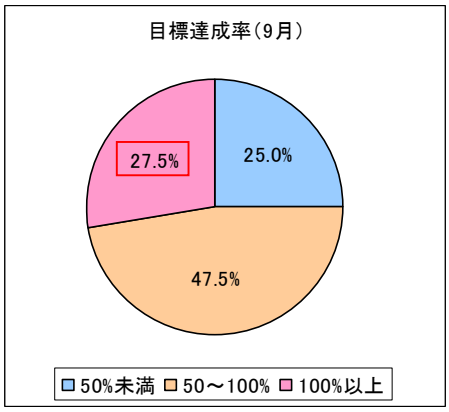
- クルマと自転車を日によって使い分ける人がもっとも多く、他にもクルマとその他の手段を使い分けて通勤する人が多い。
- スマート通勤手段別では、自転車の利用が圧倒的に多く 7 割以上が自転車を利用している。

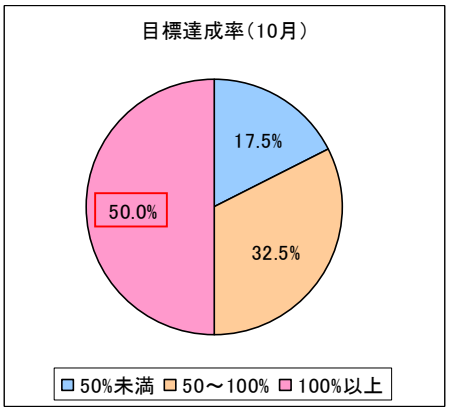


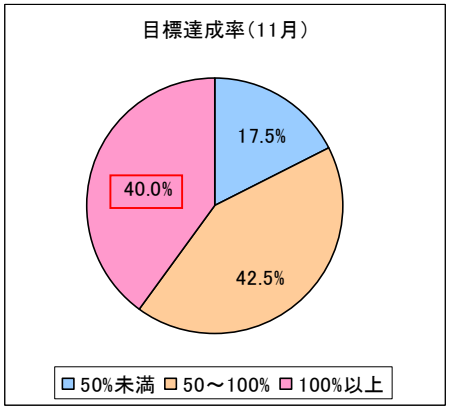


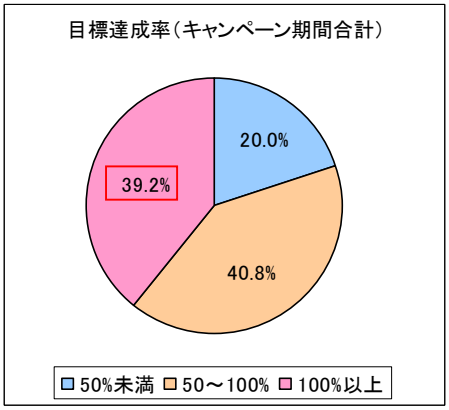
⑤目標達成率（目標を設定した 40 人対象）

- 目標を達成した人は、9 月は 27.5%、10 月は 50%、11 月は 40%で、期間を通じては約 4 割であった。









⑥サポーターのコメント

- サポーターになることで目標ができ、がんばることができた、またキャンペーン終了後も続けたいというコメントが多くあった。
- 特に自転車通勤でヒヤリと感じたこと（自転車のマナー違反、道路整備への不満、クルマ運転者の注意不足など）を指摘する意見が多くあった。
- 自転車通勤により、人とのふれあいや新しい発見ができたとのコメントがあった。
- 寒さや雨などの気候条件によりスマート通勤がつらくなるという声が多くあった。

カルテのコメント欄やメールからの抜粋

●目標達成を目指して

・通勤距離が長いためにどうしても車通勤に頼ってしまうんですが、スマート通勤をやらせて頂いてから、考え方が少しかわりました。地球にとっても自分にとってもプラスになることなので、これからはもっと頑張ってスマート通勤していけるように取り組んでいきたいと思います。

・今後もこのままできる範囲で気楽に少しずつ、何らかの形で CO2 削減に取り組めればいいですね。意識しなくちゃ(*^m^*)小学校などでも いろいろな活動をしているようです。「活動」でなく「当たり前」として取り組むことができるよう していきたいですね!(^^)!

・寒さが増す11月、達成率が気になり、自転車通勤継続頑張りました。

・9月、雨の中でもカッパにて自転車通勤を遂行しました、少しでも自分の決めた目標を達成しようと思い、自転車通勤にこだわり努めました。

・今回は目標を達成することができませんでしたので、もしかして、次回やる機会があれば、達成したいと思います。できれば冬じゃなく、春とか秋がいいんじゃないでしょうか。

・以前よりずっと自転車通勤(雨天ならば、徒歩通勤)しています。これからも健康維持を第一目標として頑張ります。

・また企画があれば参加しますね。ありがとうございました。

・自分なりに無理のないエコ活動ができたと感じています。今後もエコ通勤を心掛けたいと思います。
・私はせっかく徒歩通勤に慣れたので暑くなるまでは続けます。 カルテのシートを利用したら目標が持てる気がしています。
・11月はだんだん寒さも厳しくなり、自転車をあきらめて、車で通勤しようかと考えがちですが、カルテのおかげ(！？)で自転車通勤できました。この調子で12月も頑張ろうと思っています。
・通勤距離が 7.5km あるので自転車通勤は頭になかったのですがこのキャンペーンがきっかけでやってみる気になりました。 始めはきつかったのですが今ではほどよい運動になって気持ちがいいです。 メタボ対策としても頑張ります。 ありがとうございました。

●自転車でヒヤリ
・自転車で車道を走るのは危険度大。もっぱら歩道を走っている。歩道の段差を出来るだけなくすことを希望する。
・1日だけ自転車通勤をしたのですが、意外にも自動車通勤より恐怖を感じた。というのが、車は専用の道路というものがあるが、自転車にはそれがなく常に横を走る車(本来、自動車が気をつけるべき)や、通行人を意識しての運転を余儀なくされました。その点、都市中心部一部では自転車専用道路が整備されてますが、より一層の普及を期待します。
・自転車通勤は意外と危険なところがあると思った。
・夕方は 5 時過ぎるとライト点灯しているが、対向自転車は点灯していなくて、ヒヤリとする事が多い、特に学生には注意している。
・とにかく車は自転車を見てません。今日も轢かれそうになりました。車には歩道、横断歩道を横切る際には細心の注意を払って頂きたい。そういうところの一旦停止などの取り締まりこそ強化していただきたい。
・自転車通勤時、気になること。日が暮れてからの無灯火自転車が多い。自転車とはいえ、早め点灯を心がけなければと思います。雨天時、傘差し自転車運転が多い。(ともに学生より大人のほうが断然多い。)大人の自転車マナーはかなり悪いと思います。自分も色々気をつけなければと思います。あと自転車のテールライトは夜間目立つので、おすすめです。
・街灯のない暗い道がけっこうあります。 自転車のライトで走るのは怖い感じです。
・自転車運転って、わりと歩道も路肩も邪魔なんですよね・・・・しかもでこぼこや縁石カーブ、道路交差の歩道と車道の段差、いっぱい不便がありますね。

●新しい発見
・おじさんたちも毎朝、自分たちの息子・娘と同じく、寒くても自転車で通勤する、いつも自転車ですれ違う生徒たちとはなにか不思議な親近感が湧く。たまに生徒のほうからおはようと、声を掛けられたりして。冬のスマートを乗り切れば、完全に根付くことが期待されるでしょう。春の訪れも肌で感じとることが出来るでしょう。
・3ヶ月間、お疲れ様でした。 車での通勤が大半をしめておりましたが、自転車での通勤はとても気持ちの良いものです。厚東川を朝陽に向かって、張り詰めた空気を感じながら(高校生においぬかれながら・・・・) 帰りは夕日が川面を赤く染めて・・・・同じ厚東川なのに毎日違って素敵ですよ。 超お薦めの景色です。これから寒さも増してきますが、晴れた日は自転車通勤を続けようと思います。
・今時分の季節は気持ちがいいです。近所の顔見知りの挨拶や登校中の子ども達、小さなコミュニケーションがたくさんあって面白いです

●寒さ、雨との戦い
・寒くなるとなかなか難しい。
・11 月前半は、朝、起きられないのと前日準備が億劫になるのとで、なかなかノーマイカーが実施できなかった。
・急に寒くなり、自転車の防寒着や帽子、手袋、雨具を引っ張り出して身支度するこの頃です。つい朝の、5 分が惜しくてマイカーに乗ってしまいますが、早寝早起きを心がけて自転車に乗り、雨の日・荒天の日、飲む日はバスを利用すれば健康にも環境にも良いなと思います。
・11 月は急に寒くなり、自転車通勤には厳しい季節がやってきました。月の後半はカゼ気味でしたが、スマート通勤に登録しているため頑張って自転車通勤を遂行し完了しました。自分に天晴れ。
・雨の日などは、どうしても車を使ってしまいます。カッパを着て頑張らないと…パーフェクト目指してこれからも頑張っていきたいと思います！
・秋冬の原付通勤は、寒い。原付の燃費は 35km/l なので、クルマよりスマートですが、助手席がないので女子からモテナイ。雨の日の原付通勤は合羽から服に水滴がしみこんだり、顔や手袋や靴は無防備なのでびちょ濡れたりして大変だが、自虐的で、妙な達成感が発生する。
・外気が寒いので無理にバイクで通勤すると風邪を引く。

●公共交通への要望
・以前より改善されたが、バスが予定時刻に来ない。
・バス通勤する方法も考えましたが、早朝出勤や深夜帰宅などの適当な時間の便が整備されていません。
・基本的に公共交通機関がないので無理です。

（６）一般参加者の成果

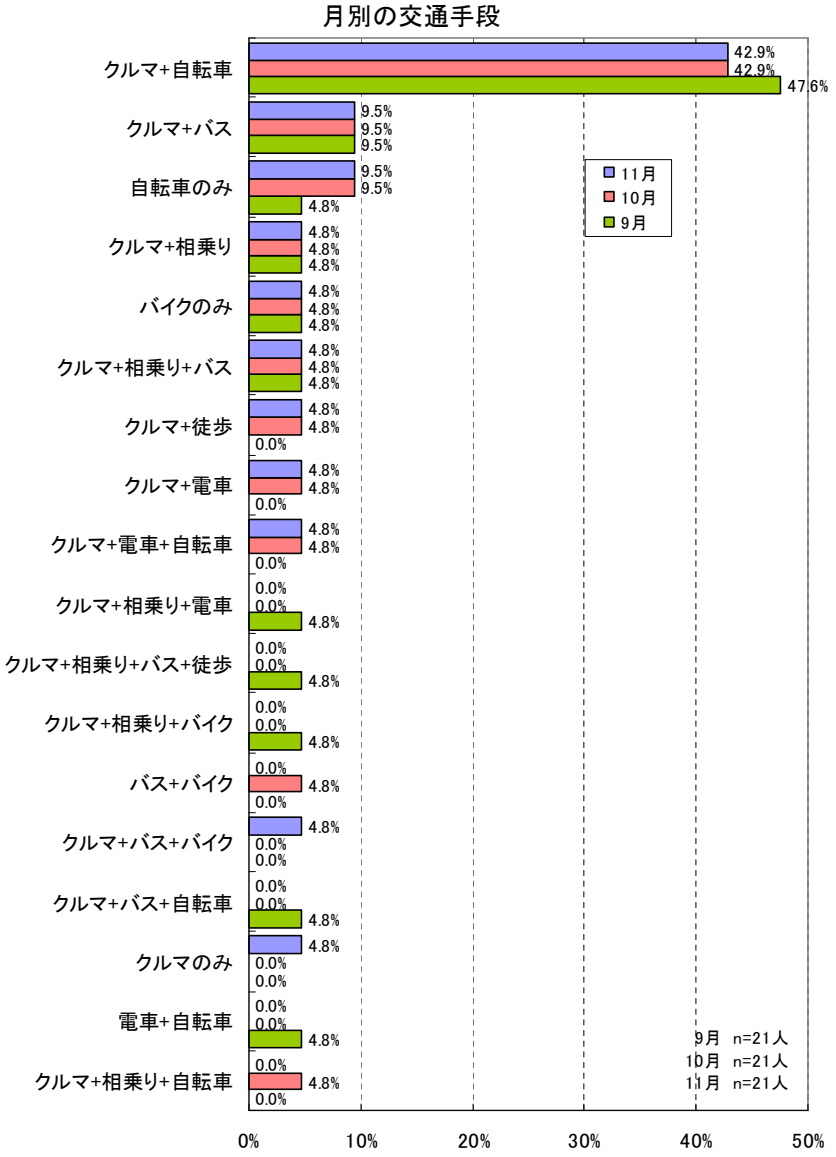
①スマート通勤の実施率

- 期間を通じては 43%以上の日数でスマート通勤を実施できた。

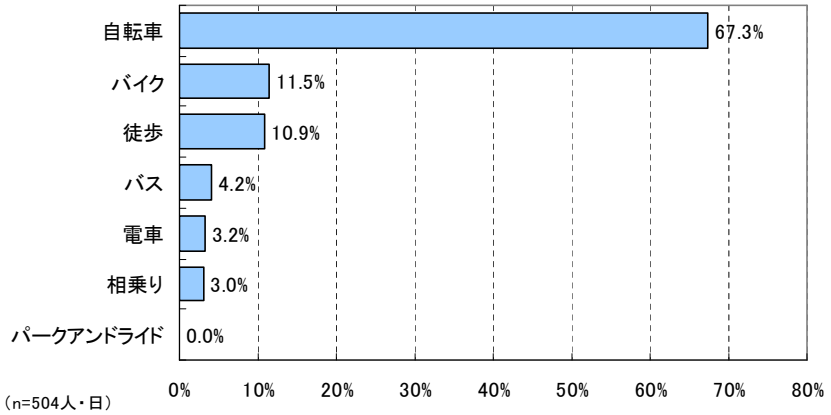
	9 月	10 月	11 月	計（平均）
総通勤日	391 人日	384 人日	396 人日	1,171 人日
スマート通勤実施日数	165 人日	177 人日	162 人日	504 人日
スマート通勤実施率	42.2%	46.1%	40.9%	43.0%

②通勤手段

- クルマと自転車を日によって使い分ける人がもっとも多く、他にもクルマとその他の手段を使い分けて通勤する人が多い。
- スマート通勤手段別では、自転車の利用が圧倒的に多く約 63%が自転車を利用している。



スマート通勤手段（キャンペーン期間合計）



③一般参加者のコメント

- 「環境のため」だけではなく、心身の健康や経済面のメリットを感じている人がいる。
- マナー向上を願う声が多い。

●環境のためだけではなく

・自転車で早朝家を出る時は、暗く・寒く・風の強い日など躊躇しながらブルーな気分で出発する日も有りました。しかし、会社到着した時は、身体もポカポカ、若干の汗もかき、気分すっきり爽快です。仕事開始のスターターも良好です。今後も『安全』『健康』『環境』の為、無理せず自然体に継続するつもりです。

・ビールがうまい！

・CO2削減もさることながら運動不足の解消、ダイエットを目的に自転車通勤を始めましたが、消費したカロリー分をしっかり摂取（ビールと食事）してしまいCO2削減には協力できたものの自身の目的はなかなか達成できていない日々ですが、これをやらなかったらもっと大変なことになっているはずだと自分に言い聞かせながらせっせと自転車通勤を心がけております。

・4 年位前から自転車通勤を基本にしています。最近では晴れの日に自家用車に乗ることがほとんどありません。環境問題以外に以下のようなメリットを感じています。

－健康によく体力向上に役立つ。（スポーツ実施時の息切れが少なくなる？）

－ガソリン代が減る。（家計が助かる！）

－車の劣化防止、買い替え寿命の延期（家計が助かる！）などなど

・自転車通勤をすることによって、普段気づかなかった季節の移り変わりを肌で感じることが出来ました。

●マナー向上、安全を目指して

・自転車通学の高校生が無茶な運転をしたり、ミュージックプレーヤーを聞きながら運転していたりと、危ない運転場面に出くわす事が多々あり、自転車通勤の自分も気をつけないといけないなと思いました。

・退勤時暗くなっているので、ライトを点灯し、後部には赤い点滅灯を付けて安全に配慮しているが、自転車に乗っている人のマナーが悪すぎると思う。無灯火，並列運転、携帯電話をしながらの運転、事故が起こらないはずがない。スマート通勤の前に、自転車運転手のマナーアップ運動が必要だと思います。（通・退勤時何度もヒヤリがある）

・バイク（原付自転車）での通勤時、前を走行していたバイクが、信号待ちで停車するたびに、エンジンを停止（アイドリングスットップ）させていたことに感心させられた。

・信号機のない交差点で車が止まってくれて横断できた時はとても感謝するとともに、自分も歩行者の立場にたって運転マナーを守り、安全運転に心がけたいと思いました。

（７）キャンペーンによる二酸化炭素排出量削減効果の把握

- キャンペーン期間中の CO2 排出削減量は、サポーターによるものが 2924.0kg-CO2、一般参加者によるものが 1099.5 kg-CO2 となり、合わせて 4023.5 kg-CO2（体積換算すると 200L のドラム缶 10,240 本相当、吸収に必要な 50 年生の杉の木 287.4 本分）となった。

	①スマート通勤実施人数（人）	②キャンペーン前の CO2 排出量（3 ヶ月間）（kg-CO2）	③キャンペーン中の CO2 排出量（3 ヶ月間）（kg-CO2）	④キャンペーンによる CO2 排出削減量（3 ヶ月間）（kg-CO2）	⑤1 人あたりの CO2 削減量（1 ヶ月間）（kg-CO2）	⑥削減率	参考 1 スマート通勤実施者の平均実施日数（日/月）	参考 2 スマート通勤実施者の平均片道通勤距離（km）
サポーター	59	9061.9	6137.9	2924.0	16.5	32.3%	11.4	6.8
一般参加者	21	3539.9	2440.4	1099.5	17.5	31.1%	8.1	7.0
計（平均）	80	12601.8	8578.3	4023.5	17.0	31.9%	9.8	6.9

＊②③CO2 排出量（kg-CO2）＝往復通勤距離（km）×ガソリン消費量（9.7km/l）×ガソリン 1l あたりの CO2 排出量（2.32kg/l）×クルマ通勤日数
＊⑤一人当たり CO2 排出削減量＝④／①
＊一般参加者の「キャンペーン前のクルマ通勤回数」は、サポーターの平均値（15.4 日/月)を使用。

（８）表彰の案

①サポーター

各賞対象者には、感謝状と記念品を贈呈する。
○毎日スマート通勤した方（対象者 6 名）
○3 ヶ月連続目標達成率 100%以上だった方（対象者 11 名）
○キャンペーン前よりクルマ通勤日を 15%以下に抑えた方（対象者 9 名）

②事業所

対象事業所には、感謝状を贈呈する。
○サポーター・一般参加の人数が多かった事業所（上位 4 事業所）
－新光産業株式会社（サポーター24 名）
－宇部テクノエンジ株式会社（サポーター1 名、一般参加者 9 名）
－宇部興産株式会社エネルギー・環境事業部電力ビジネスユニット管理グループ（サポーター9 名）
－宇部市ガス水道局ガス事業部（一般参加者 9 名）

○サポーター・一般参加のスマート通勤の日数が多かった事業所（上位 3 事業所）
－宇部テクノエンジ株式会社（341 人日）
－新光産業株式会社（285 人日）
－株式会社宇部スチール（203 人日）

（９）今後の予定

・サポーターへニューズレター4 号（キャンペーン成果等）送付
・事業所へのキャンペーン成果の送付
・受賞者へのお知らせ、感謝状と記念品送付

（１０）成果及び今後の課題

・サポーターとの対話で、キャンペーンを展開するために有用なアイディアを学ぶことができた。
・多くの事業所に参加いただき、行政、FM きらら、宇部日報等の地元メディアと協働でキャンペーンを展開することができた。
・サポーターとメールでのコミュニケーションは図れたが、宇部地域 SNS「うべっちゃ」へのサポーターの参加は少なかった。事業所のパソコンから SNS へ接続することに抵抗があったと考えられる。「うべっちゃ」では、コミュニケーション数はメールに比べ少なかったものの、サポーター同士の交流の他、サポーター以外のうべっちゃユーザーを巻き込むことができた。気軽に集える場として、より参加しやすい環境づくりが必要である。
・スマート通勤手段としてサポーターの約 7 割が自転車を利用したが、自転車通勤時のヒヤリ体験も多く寄せられた。安全な自転車通勤のためには、短期的・ソフト的な対策として自転車運転者のマナーアップ、クルマ運転者への注意呼びかけ、サイクルマップによる情報提供などが考えられる。
・他の主催者によって実施されている類似の施策（県のノーマイカー運動等）と連携することで、参加する事業所の負担を減らしたり、効率的に実施したりすることが考えられる。